

令和3年度第3回 沖縄県循環器病対策推進協議会 議事要旨

- 1 日 時：令和3年12月24日（金）18：00～20：00
- 2 場 所：沖縄県医師会会議室（WEB会議併用）
- 3 出席者：別紙「構成員一覧」のとおり
- 4 主な意見及び回答（抜粋）

（1）議事 沖縄県循環器病対策推進計画素案について

① 第2章「沖縄県の現状と課題」について（P5～12）

○出席委員

- ・救急に関するデータは他県と比較できた方がよいのではないか。
- ・救急搬送にかかる時間等も追加してはどうか。
- ・消防隊が行っているPA連携等の取り組みも追記してはどうか。

○沖縄県事務局

- ・素案に盛り込む方向で検討したい。

② 第3章「循環器病の予防」について（P13～18）

○出席委員

- ・「次世代の健康づくり副読本」の取り組みについて、現場での副読本の活用状況について知りたい。
- ・副読本の取り組みについては、教育委員会との連携についても記載した方がよい。

○沖縄県事務局

- ・副読本の活用状況については確認したい。
- ・教育委員会との連携について、素案に盛り込む方向で検討したい。

○出席委員

- ・脳卒中患者は肥満の方も多く、食生活の改善についても計画に盛り込んでほしい。
- ・食生活や運動などの生活習慣に関する取り組みも記載した方が具体的になる。

○沖縄県事務局

- ・素案に盛り込む方向で検討したい。

③ 第4章「保健・医療及び福祉にかかるサービスの提供体制の充実」について ア 心疾患対策について（P21～29）

○出席委員

- ・小児の循環器病は学校検診より乳幼児健診での発見率が高いので、表現を工夫してほしい

○沖縄県事務局

- ・整理し対応させていただきたい。

イ 脳卒中对策について（P30～35）

○出席委員

- ・脳卒中は言語障害を持つことも多く、社会生活と生き甲斐対策という福祉の観点からの取り組みや連携についても盛り込んでほしい。
- ・患者の在宅復帰のみではなく、社会の一員として社会復帰させるという観点からも福祉との連携は重要。
- ・（脳卒中患者は）急性期を経て、その後医療から福祉へとサービスの比重が変わるが、切れ目なく支援していくことが医療者としての課題であり、その事を計画に盛り込めた事は前進。

○沖縄県事務局

- ・福祉の部分についての表現も盛り込む形で対応したい。

○出席委員

- ・t-PA という表現は一般県民に馴染みがないので、表現を工夫してほしい。

○沖縄県事務局

- ・対応したい。

○出席委員

- ・口腔管理について、口腔ケアも内容によって大きく3つに分かれており、どのケアをどのように取り組むかがわかりにくい。

○出席委員

- ・脳卒中患者や県民が相談しやすい相談窓口は是非とも作って頂きたい。

○出席委員

- ・どこに住んでもある程度の医療が受けられる、というような表現も加えてはどうか。

○沖縄県事務局

- ・事務局で整理し、検討したい。

ウ 仕事と治療の両立支援・就労支援について (P36～37)

○出席委員

- ・コンパクトな沖縄だからこそ連携を取り、全国の模範になるよう進めていただきたい。

○出席委員

- ・医療機関の連携については、急性期→回復期→在宅のボトルネックになっているところをどうするかという所がポイント

○沖縄県事務局

- ・県も各種取り組みを行っていききたい。

○出席委員

- ・患者は発症直後は不安定で、相談をする前に仕事を辞めることが多いので、早期に支援を入れることが職場復帰のポイントになる。

○沖縄県事務局

- ・早期の介入支援については盛り込む形で検討したい。

④ 第5章「計画の推進体制と進捗評価」について (P38～39)

○出席委員

- ・医療機関の役割や連携が重要になってくるので、方向性を示すという意味ではこの記載はよいと思う。

○出席委員

- ・市町村毎に保健師のレベルや体制も異なるので、地域差が無くなるよう市町村には努力してほしい。

○出席委員

- ・一番は発症させないことであり、県民の取組みが重要である。きちんと健診を受け、治療や食事、薬事療法により改善する。それをしないと救命率も下がらない。

○沖縄県事務局

- ・具体的に県民向けに働きかけをしていきたい。

⑤その他全体を通してのご意見

○出席委員

- ・全体を通して介護の部分についての記載が少ないので、もう少し検討してほしい。

○沖縄県事務局

- ・検討したい。

○出席委員

- ・介護関係の実態把握と組織化が必要と思う。